

教育理念

当校は、都内特に多摩地域にある保健・医療・福祉施設や地域において、都民の健康の担い手として活躍できる質の高い看護師を育成することを責務としている。

生命の尊厳と高い倫理観を基盤とした豊かな人間性を養い、看護の対象である人間に対する深い理解と共感を持つことのできる専門職業人を育成する。科学的根拠に基づいた知識・技術を用い、対象にとって最適な健康状態を目指し支援できる基礎的な看護実践能力を育成する。生涯にわたって、自己啓発に努め、看護学及び保健医療福祉の発展に貢献できる能力を培う。

教育目標

- 1) 生命の尊厳と高い倫理観に基づいた豊かな人間性を養う。
- 2) 看護の対象である人間を、総合的に捉えるとともに、生活者として理解できる能力を養う。
- 3) 人々の健康上の課題を解決するために、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 4) 保健・医療・福祉における、看護職の役割を認識し、チームの一員として他職種と協働できる能力を養う。
- 5) 看護への探究心をもち、専門職業人として学習し続ける能力を養う。

卒業の認定方針（ディプロマ・ポリシー）

- 1) あるがままの人間を、個人として理解し尊重できる。
- 2) 命を尊び、人間の喜び、悲しみ、苦しみを感じとり思いやれる。
- 3) 人間の健康状態や生活に対する反応を読みとり、必要な看護を判断できる。
- 4) 看護の専門的知識、基本的技術を用いて根拠ある看護行為を実践できる。
- 5) 他職種と連携・調整をして、看護職としての役割が果たせる。
- 6) 社会の動きを敏感にとらえ、看護を創造的に考えられる。
- 7) 重要な課題、困難な問題の解決に向けて、リーダーシップを発揮できる。
- 8) 探究心と向上心を持ち、自ら学ぶ姿勢を持ち続ける。
- 9) 豊かな人間性の形成を目指し、専門職業人として自己成長をしていける。
- 10) 都内とくに多摩地域において、保健・医療・福祉の発展に貢献できる。
- 11) 看護職としての高い倫理観をもち、よりよい看護を提供できる。